

社会福祉法人 林檎の里

あおぞら

Vol.2

目次

理事長挨拶	1P
事業所紹介	2P
第12期新体制始まる	4P
支援の窓	4P
障がい福祉の仕事に就いて・・・	5P
専門職からのインフォメーション	5P
決算報告	7P
心に残る1冊	8P
インフォメーション	8P
寄付御礼	8P



私ども社会福祉法人「林檎の里」が旧三水村芋川の地に自閉症支援施設「あおぞら」を開設してから21年が経過しました。その後、町内4カ所にグループホーム「ひこうき雲(倉井地区)」、「つばさ(普光寺地区)」、「ふなくぼ(普光寺地区)」、「ひまわり(芋川地区)」、長野市上駒沢地区にグループホーム「上駒沢」と「あおぞら日中活動支援センター」を開設。昨年4月には、普光寺地区に「日中活動支援センター」を開設しました。8月1日現在、利用者様は91名おられます。

利用者様への支援事業を通して、障がいのある人たちが安心して日常生活を送ることができる「生活の場」を提供しながら、人権の尊重、社会参加と自立、地域住民との連携・交流等の理念の実現に職員一同、支援力を高めつつ力を尽くしてきました。

幸いにも三水地区の皆様のご理解、ご支援のおかげで今日に至っていることに心から感謝申し上げます。

今後も障がいのある方をはじめ、社会的弱者と言われる人々にやさしい地域・人々、多様な生き方が尊重される、あたたかい福祉の風が吹きわたる地域であってほしいと願っています。

さて、昨年4月に飯綱町の委託を受け、「地域活動支援センター」を飯綱町多世代交流施設内に開設し、支援員・相談員の2名の職員が日常業務に当たっています。町内の皆様の様々な悩みごとが相談できる窓口です。ひとりで悩まないで是非窓口においでいただきたいと思います。これは、我々法人の重要な社会貢献事業のひとつでもあるのです。

また、今年から新たに区・組の役員の皆様との懇談会を開催することになり準備を進めています。意見交換・交流を通じて、法人の諸事業をご理解いただくとともに、私どもの側から、地域福祉にどんな貢献ができるか考え実践していきたいと思っています。

町行政と町内の様々な福祉支援団体の協力で、住民福祉の先進地域になることを期待し私たちも努力したいと考えています。

社会福祉法人 林檎の里
理事長 寺島 渉

事業所紹介

自閉症支援施設あおぞら（施設入所）

野ウサギやカモシカなどの野生動物が立ち寄り、季節ごとに異なる草花が芽吹く大自然に囲まれた場所に「自閉症支援施設あおぞら」があります。

40名の利用者の皆様が施設入所支援サービスを利用されており生活棟という同じ建物で生活をされています。

施設という言葉を知ると集団生活をイメージしがちですが、毎日の日課、居室の環境、余暇の過ごし方は一人一人違います。

昼は生活介護支援サービスとして利用者の皆様には作業室や作業棟を中心にやりがいや達成感を得ることの出来る作業に取り組んでいただいています。

他にもトランポリンやウォーキングなど気分転換や運動を兼ねた活動などがあります。利用者お一人おひとりのニーズを尊重し、寄り添った支援を大切にしています。



日中活動支援センター（生活介護サービス）

飯綱町に「飯綱町日中活動支援センター」、長野市上駒沢に「あおぞら日中活動支援センター」があります。

主に発達障がいや知的障がいをお持ちの皆様が、グループホームや在宅、あおぞら等の施設から昼間の活動先として通所されています。

利用者の皆様の介護（生活支援全般）、古紙回収（古紙、段ボール等の回収）、受注作業（パチンコの分解、ノバキャップ）、ウォーキング・スポーツ活動、創作、余暇活動（外出や季節の余暇企画）など、お一人おひとりに合ったサービス提供に努めています。



生活介護サービスとは『常に介護を必要としている方に対して、主に昼間において、入浴、排せつ、食事等の介護、調理・洗濯掃除等の家事、生活等に関する相談援助その他必要な日常生活上の支援、創作的活動・生産活動の機会の提供のほか、身体的機能や生活能力の向上のために必要な援助を行う』福祉サービスとされています。

グループホーム

長野市に1軒、飯綱町に4軒のグループホームがあります。

ひこうき雲(倉井)は地域生活移行の先駆的存在として、つばさ(普光寺)は古民家風の暖かい雰囲気、上駒沢(長野市三才)は唯一の平屋タイプ、ひまわり(芋川)とふなくぼ(普光寺)は黒と白を基調としたおしゃれな外観とそれぞれ特徴があります。



ひこうき雲



つばさ



上駒沢



ひまわり



ふなくぼ

それぞれのグループホームには、4～6名の利用者の方が入居されております。

「地域の中で、昼間は他事業所等で働き、夜間はグループホームで家庭的な生活を送る」といった普通の暮らしの中で、利用者の皆様の想いや、ご希望を実現することを目指して、スタッフが寄り添った支援を心掛けております。

地域貢献・総合相談所

- ・飯綱町地域活動支援センター
- ・相談支援室あおぞら



令和2年4月より、飯綱町多世代交流施設【メーラプラザ】において、飯綱町からの委託を受けて「飯綱町地域活動支援センター」の業務を開始いたしました。

飯綱町地域活動支援センターでは、町内に暮らしている障がいのある方たちが気軽に立ち寄り、地域社会の中で交流を持ちながら生活していくための様々な活動を提供しております。皆様のご希望をお聴きしながら、日々、潤いのある生活を送っていただけるよう支援をさせていただきます。

「相談支援室あおぞら」が行う相談支援事業では、障がいのある方が福祉サービスを利用するための相談支援(計画相談)を行っております。ご本人の抱える問題をお聴きし、町行政と一緒に相談者ご本人が安心して生活を送ることができるよう支援いたします。



社会福祉法人林檎の里 ～第12期新体制決まる～

令和3年6月に開催された理事会において新役員が決定し、法人第12期がスタートしました。

■ 新理事挨拶

この度理事を仰せつかりました櫻井和夫です。昨年からの新型コロナウイルス拡散で施設並びに職員の皆様には大変な思いをされて業務に当たっていただいておりますこと感謝申し上げます。

過日の理事会で将来に向けての方針をご説明いただきました。微力ながら務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

この度、施設管理者として、今期より理事を務めさせていただきます青柳教子と申します。福祉サービス提供に関わる立場から、法人の発展に繋がるよう、日々の学びを深めながら尽力させていただきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

■ 第12期役員新体制

理事	寺島 渉 (理事長)	長澤 照和 (常務理事)	青柳 教子	荒井 和己	飯田 治夫
	沖 弘宣	櫻井 和夫	山本 京子		
監事	相澤 浩幸	青柳 市郎			
評議員	相澤 壽	石坂 明子	小宮山紀道	高野 哲浩	高橋 吉郎
	久遠 春美	穂刈 敏寛	増沢 武志	松岡 保正	山本 美枝

支援の窓

● 利用者さんの思いを受け止めて

「ご自分の思いを言葉で伝えること」が苦手な利用者の方の中には、動作や行動などにより、支援員に思いを伝えようとする場面があります。

私はある日、利用者のMさんに叩かれることがありました。Mさんの行動だけを見ると問題があるように見られてしまいますが、ご本人にとっては「〇〇が欲しいんだ」とか、「今は、そういう気分ではないんだ」という思いの表れとして捉えることが大切です。

表情の変化や、動作や行動の1つ1つに利用者の方の思いが込められていると考えながら、思いの伝わる日常生活を実現していくことが、私たち支援者の役割でもあります。(T支援員)

● ドライブ好きの利用者さんも…

あおぞらは、山々に囲まれた飯綱町の自然豊かな場所に位置しております。四季折々の景色を楽しむことが出来ることもあり、ドライブを楽しみにされている利用者の方が多いです。

ドライブについては出掛ける曜日をそれぞれ固定することにより、いつドライブが出来るのか見通しを立てやすくしております。また「耳で聞く」より「目で見える」ことが理解しやすい方には、ドライブの前に車の絵を提示することにより、これからドライブに行く事を分かりやすくお伝えしております。このように利用者の方々が、地域の中で自分の居場所や役割、楽しみを持てる環境を整えることが私たちの仕事の一つです。(W支援員)

障がい福祉の現場から… `私が仕事を続ける理由、`

● 福祉人として着実に歩みたい！

「どうせなら、人の役に立つ社会人になる」

そんな単純な気持ちが始まりでした。現代社会においては、福祉職はすべての人々を助け、支えていく特別な仕事。その社会的意義に大きな魅力を感じ、私は福祉業界を選択しました。

当法人での5年の実務は、利用者の方々の個性や人間味を実感でき、「人をお支えするやりがい」こそ、この仕事を続ける原動力と感じます。今後も使命感を持って日々、自己研鑽に努め、福祉人として着実に歩を進めていきたいと思えます。(K支援員)

● 毎日が発見、やりがいを感じる日々。

学生の頃から、誰かの助けになる仕事をしたいという思いがありました。福祉には興味はあったものの、今までは全く関係ない職に就いていましたが、たまたまこの法人を知り、やってみようかなという興味本位から福祉の職に就きました。

福祉に関する知識が無い中での仕事で、戸惑いや大変さを感じる場面はたくさんあります。そんな中でも利用者の皆様が楽しそうにしている姿を見ると、なんだか自分まで嬉しくなります。毎日違った発見があることもやりがいに感じています。だからこそ続けています。(M支援員)

～ コロナ禍の暑い夏を乗り切るヒント ～

専門職からのインフォメーション

コロナ禍における熱中症予防のポイント

感染防止の観点から、マスクの着用、手洗い、身体的距離の確保が求められています。マスクの着用は効果的ですが、夏季における着用は、体温が上昇し、熱中症のリスクが高まることが懸念されています。

- マスクを着用しているため、のどの渇きを感じにくくなります。
のどの渇きを感じていなくても、こまめな水分補給が大切です。
- 高温下での長時間の作業や運動をできるだけ控えましょう。休憩や作業後は、涼しい場所に移動して十分な休息をとることが大切です。
- 日頃の体温測定、健康チェックを継続して実施していきましょう。
自分の平熱を知ることにより、発熱(普段との違い)に早く気が付くことができます。

暑い日が続くと思われませんが、日々の健康管理を充実していただき、ご自愛ください。(看護師)





夏休みの過ごし方 ~お子様のいらっしゃる方へ~

○なるべく規則正しい生活を送る。

楽しい夏休みは、生活のリズムが乱れがち。睡眠不足は体や頭の成長にも良くありませんし、生活のリズムが崩れると学校に行くのが嫌になる時もあります。特別な日の夜更かしも長期休みの楽しみの一つです。全て禁止ではなく上手にできればと思います。

○スマホやメディアの時間を守る。

スマホやメディアは使うほどやりたくなります。静かに安全に遊ぶので大人も楽です。しかし、依存すると他の遊びでは満足できなくなり、成長に必要な遊びの機会が減少します。外食時の待ち時間などには非常に便利です。上手に使えると良いですね。

○屋外遊びも大切。熱中症には注意。

少子化や過疎化の影響で遊ぶ友達も少なくなり、熱中症などが心配で屋内遊びが多くなりやすいかと思います。屋外遊びは運動の成長や体調の調整に役立ちます。体調に気をつけて屋外遊びを楽しめると良いと思います。

(作業療法士)



旬の野菜の効能は… ~夏野菜の力~

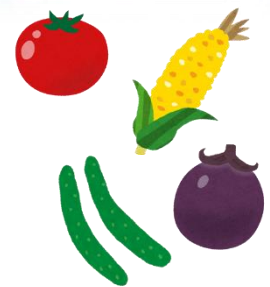
夏は美味しいものがたくさんありますね。トマトやきゅうり、茄子、トウモロコシ、などなど。

野菜は、旬の時期に一番栄養価が高く、不思議とその時期に身体に必要な栄養価が詰まっています。

夏野菜には、水分やカリウムを豊富に含んでいるものが多く、身体にこもった熱を身体の中からクールダウンしてくれます。トマトやきゅうりなど、生で食べられるものも多いので、夏に不足しがちな栄養素を簡単に補給できるのが夏野菜の長所です。

気候や季節により身体に必要な栄養素がありますが、旬のものを旬の時期に食べることで、旬の野菜がその時身体に必要な栄養素を摂ることができるのです。

今年の夏もマスクをしながら、自粛をしながらの生活になります。美味しいものから元気ももらって、コロナ禍の夏を乗り越えましょう。(栄養士)



令和2年度 決算報告書【概要版】

〔事業活動計算書〕

事業活動計算書とは、一会計期間における経営活動の成果、すなわち法人の純資産がどれだけ増加したかを、その増減要因別に明らかにしたものです。収益(増加要因)から費用(減少要因)を控除して、利益である増減差額(純増加額)を表しています。

その中でも重要な経常増減差額は、法人の通常の事業活動による成果を示しています。これらの増減差額を原資として、将来の法人運営の財源となる積立等をしつつ、純資産が増えていくことが望ましい経営状態となります。また、建物等の長期的に使用する固定資産は、耐用年数に応じて費用を計上しますが、これを減価償却費といい、再投資に対する目標値とされています。

当法人では今年度、減価償却費が19,458千円となり、これに相当する法人運営の財源となる積立金は20,000千円です。さらには、当期活動増減差額が28,064千円となったことで純資産が増加しており、健全な経営状態となっています。

項 目		決算額 (千円)	内容説明	
収 益	介護給付費収益	387,195	介護保険からの給付費収益	
	事 業 内 訳	自閉症支援施設あおぞら	234,448	定員40人 年延数：14,965人(施設入所) 10,632人(生活介護)
		日中活動支援センター	78,175	定員40人 年延数：7,382人(生活介護)
		グループホーム	74,450	定員26人 年延数：8,903人(共同生活援助)
		相談支援室	122	計画相談支援給付費(相談・ケアプラン作成等)：9人
	利用者負担金収益	53,294	利用者負担金(食事代、水道光熱費、日用品費等)	
	その他の収益	15,877	補助金・受託金・寄付金・利用者外給食収益・預金利息等	
経常収益(A)		456,366		
費 用	人件費	307,224		
	事業費	99,902	給食費23,618千円 業務委託費16,705千円 水道光熱費12,125千円 消耗器具備品費8,189千円等	
	減価償却費	19,458	固定資産の時間経過による価値の減少費用	
	その他の費用	1,612	利用者外給食費・借入金支払利息等	
	経常費用(B)		428,196	
経常増減差額(C) = (A) - (B)		28,170	*法人の通常の事業活動により生じた増減差額(経常利益)	
特別増減差額(D)		△ 106	固定資産除却損106千円	
当期活動増減差額(E) = (C) + (D)		28,064	*法人の一年間における最終増減差額(最終利益)	
前期繰越活動増減差額(F)		173,964	事業開始から前期末までの利益の累計額	
繰越活動増減差額(G)		20,000	当期積立金積立額20,000千円	
次期繰越活動増減差額(E) + (F) - (G)		182,028	事業開始から当期末までの利益の累計額	

〔貸借対照表〕

貸借対照表とは、決算日(3/31)時点の法人が所有する資産(財産等)と、負債(借入金等)、純資産(寄付金等)の状況を示したものです。

資産は運用形態(財源はどのように使われているか)、負債・純資産は発生源(財源はどのように調達しているか)を表しています。

当法人では、流動資産が流動負債よりも上回っており短期的な資金繰りは良好な状態となっています。また、負債及び純資産合計に占める負債合計の割合が少ないため、債務への依存度が低く安定した状態となっています。

資産(どのように使われているか)		内容説明
項 目	決算額(千円)	
流動資産	132,317	*短期的に使用する資産
現金預金	59,596	法人の運転資金
未収金	72,721	未入金の介護給付費、補助金等
固定資産	622,331	*長期的に使用する資産
土地・建物等	488,354	事業用の土地、建物、附属設備等
器具及び備品等	25,347	事業用の器具備品、機械装置、車等
退職給付引当資産	19,314	職員退職金のための外部への積立金
施設整備等積立資産	88,200	運営・施設整備のための積立金
その他の固定資産	1,116	
資産合計	754,648	(負債・純資産の合計額と一致)

負債(どのように調達しているか)		内容説明
項 目	決算額(千円)	
流動負債	25,623	*短期的に支払義務のある債務
未払金	22,248	未払となっている業者等への支払
設備資金借入金等	3,375	1年以内に返済する借入金等
固定負債	26,999	*長期的に支払義務のある債務
設備資金借入金等	7,685	返済までに1年を超える借入金等
退職給付引当金	19,314	職員退職金のための債務
負債合計	52,621	
純資産(どのように調達しているか)		内容説明
基本金	202,365	法人設立時の寄付金等
国庫補助金等特別積立金	229,433	固定資産整備の財源となった補助金
施設整備等積立金	88,200	積立資産に対応する積立金
次期繰越活動増減差額	182,028	事業により増加した純資産額
純資産合計	702,026	*資産と負債の差額・法人の純財産
負債及び純資産合計	754,648	(資産の合計額と一致)

◇ 心に残る 1 冊 ◇

「病院というヘンテコな場所が教えてくれたこと」 仲本 りさ (著)



福祉分野ではなく、医療分野の本となりますが、同じ対人援助専門職として「働く」という目線から皆様にお勧めいたします。

看護師と患者さんの間と同じく、福祉サービスご利用者と支援者の間には笑顔や幸福感漂う場面ばかりとは限りません。時に支援者は感情の自制に苦慮し、「嫌だ、もう投げ出したい」と一度は考えたことがあるように思います。本書は、現役看護師の方が日々悩み続ける中での「気づき」や「自己成長」がイラストエッセイという形で綴られています。

「もう一日がんばろう」という励ましをいただけるとともに、自己満足では完結しない、誰かに喜んでいただけることの尊さに気づかせていただきました。(I支援員)

◇ インフォメーション ◇

相談支援室あおぞらでは、『あおぞらよろず相談窓口』を開設しております。障がい起因する困り感や生きづらさなど、解決に向けて相談員と一緒に考えます。

相談の費用もかかりませんので、まずはお電話を、お待ちしております。

TEL:026-253-7519

開設日時:毎月最終金曜日 10:00~15:00

場 所:メーラプラザ(飯綱町多世代交流施設)

Eメール:soudan-aozora@ngn.janis.or.jp



寄 付 御 礼

新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、マスク・消毒液等を関係団体等の皆様より ご寄付を賜りました。心より御礼申し上げます。

- 飯綱町保健福祉課様(マスク)
- 長野保健福祉事務所福祉課様(使い捨て手袋)
- 長野県健康福祉部障がい者支援課様(マスク)
- 公益社団法人 長野県看護協会(消毒用エタノール)
- 飯綱町障害者等事業者共同体会議
(ハンドソープ、ハイター、消毒スプレー、消毒用エタノール)
- 厚生労働省福祉 4 部局マスクチーム(マスク)

令和 3 年 7 月 20 日現在

編集後記

今号の広報誌は『理解と共感』をテーマに作成いたしました。少しでも当法人をご理解いただき、共感いただけたら幸いです。また、専門職よりコロナ禍の暑い夏を乗りきるヒントも掲載させていただきました。まだまだコロナ禍は続きますが、地域住民の皆様の生活が早く元の生活に戻ることができるよう、心より願っております。

発行日:令和 3 年8月1日

発行:社会福祉法人 林檎の里

住所:〒389-1201

上水内郡飯綱町大字芋川 6013-6

Tel:026-253-1299

Fax:026-253-5122

E-mail:aozora@ngn.janis.or.jp

URL:http://www.ringonosato.or.jp

各事業所 電話番号

自閉症支援施設あおぞら	026-253-1299	あおぞら日中活動支援センター	026-296-5337
飯綱町日中活動支援センター	026-219-2057	グループホーム(共通)	026-296-5337
グループホームひこうき雲	026-253-3540	グループホームつばさ	026-253-4130
グループホーム上駒沢	026-295-2297	グループホームひまわり	026-253-4825
グループホームふなくぼ	026-253-3160	地域貢献・総合相談所	026-253-7519